



四阪島住時の日暮別邸 (2016年撮影)

日暮別邸記念館 開館2周年記念特別企画展

日暮別邸 移築・復元工事の軌跡

明治期に建てられた洋館の再生

ひぐらしべっ

日暮別邸は、新居浜から瀬戸内海の沖合約20kmに位置する四阪島に、1906年(明治39年)に建てられた住友家の別邸で、明治期を代表する建築家・野口孫市が手掛けた文化財級とも評される洋風建築です。建築後、110年余りの歳月を経て老朽化が進んできたことから四阪島を遠望できる新居浜市に2018年に移築・復元し、「日暮別邸記念館」として開館しました。移築にあたっては、新しい建物としての性能や機能を確保するとともに、部材や意匠の変更は最小限にとどめ、可能な限り元の姿を忠実に再現しました。歴史ある建物を瀬戸内海の沖合からどのようにして移築・復元したのか、30ヵ月に及ぶ工事記録を紹介します。



【開催期間】
2020年 **11**月**1**日(日)~**29**日(日)

【開館時間】
9:00~16:30
(月曜日および祝日は休館)

【協力】住友史料館
住友金属鉱山株式会社
三井住友建設株式会社
住友林業株式会社



【会場】  **日暮別邸記念館**

愛媛県新居浜市王子町1-11 TEL 0897-31-5017